

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
TOEIC ワークショップII TOEIC Workshop II		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
TOEICワークショップI				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
加藤 遼子	授業中に指示しま す	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
国際的に認められているTOEICの出題形式や攻略法を知り、得点を伸ばすための英語力をつける。				
授業の目標				
①TOEICの出題傾向を知り、問題への着眼点を知ることができるようにする。 ②TOEIC頻出単語を頭に入れることで、余裕を持ち、問題を早く解くことができるようにする。 ③TOEICの得点を伸ばすだけでなく、基礎的な文法力も伸ばしていくことができるようにする。				
授業の方法				
TOEIC新方式にも対応した総合問題集を解く。各章の基礎的な文法事項の確認し、問題を解き、その後解説する。全6回TOEIC頻出単語テストを行い、語彙力の向上を図る。				
学習の成果 (学習成果)				
①TOEICの模擬試験を複数行うことで時間配分ができるようになるだけでなく、苦手意識を軽減することができる。 ②頻出単語を覚えることで得点を伸ばすだけでなく、普段の英語力の向上もできる。 ③文法事項を基礎的な部分から見ていくことで、様々な問題に対応できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明・評価方法説明			
第2回目	第1回 TOEIC 模擬テスト、解説			
第3回目	Unit7 文脈を意識する (リスニング) / 第一回単語テスト			
第4回目	Unit7 文脈を意識する (リーディング)			
第5回目	Unit8 動名詞とto不定詞を理解する (リスニング) / 第二回単語テスト			
第6回目	Unit8 動名詞とto不定詞を理解する (リーディング)			

第7回目	Unit9 手紙の特徴を理解する（リスニング）/第三回目単語テスト	
第8回目	Unit9 手紙の特徴を理解する（リーディング）	
第9回目	第2回 TOEIC 模擬試験、解説	
第10回目	Unit10 代名詞を理解する（リスニング）/第四回目単語テスト	
第11回目	Unit10 代名詞を理解する（リーディング）	
第12回目	Unit11 意図的問題を理解する（リスニング）/第五回目単語テスト	
第13回目	公式TOEICテスト受験	
第14回目	Unit11 意図的問題を理解する（リーディング）/第六回目単語テスト	
第15回目	Unit12 複数パッセージを攻略する	
事前・事後学習	[事前] 意味の分からない単語や発音の分からない単語を辞書で調べておく。 [事後] 授業でやって理解できなかった問題を繰り返し解く。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業に意欲的に参加している。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	各単語テストにおいて一定の点数を取っている。
試験	30%	第13回目に行う公式TOEICテストにおいて一定の点数を取っている。公式TOEICテストを期末試験として扱う。
発表内容（態度含む）		
その他	10%	模擬試験で一定の点数を取っている。
教科書と参考図書		
Junnosuke Hamasaki著 『Primary Trainer for the TOEIC® L&R Test』 （センゲージラーニング）		
履修上の留意点・ルール		
毎授業、英語辞書を持参すること。授業開始後30分以上たつての入室は欠席扱いとする。欠席した際は欠席届を提出すること。この科目は受講者全員に公式TOEICテストを受験してもらうため、受験料が必要となる。		